

2018年度 東海支部 YFE 子供いもの教室 終了報告

東海支部 YFE の活動の一つである子供いもの教室を本年度は岐阜地区で開催するにあたり、5年前にも開催させていただいた岐阜市科学館から多大なご協力をいただき、9月9日（日）に無事に開催することができた。子供いもの教室の開催告知はチラシを利用して行い、事前申し込みが受付開始4日で満席となった。最終的に109組のお子様と親御さんに参加いただき、非常に盛況だった。

小中学生のお子様に、ものづくりの楽しさ、いものづくりを知ってもらうために、ホワイトメタルのペーパーウェイトづくりを体験していただいた。お子様には10種類（車や動物などのモデル）の中から好きなモデルを選んでもらい、砂型を造型する作業を体験していただいた。小学校低学年で造型が難しそうなお子様は、親御さんにもサポートいただいた。造型後の砂型への注湯、砂落としといった高温で危険が伴う作業はスタッフが行い、その様子を間近で見せていただいた。できたいものは持ち帰っていただくと同時に、お子様だけでなく、親御さんにも鑄造工学会および YFE の PR 活動を行った。

造型するときに、自分で作ったものが形になるので、失敗しないように丁寧に砂を詰めている様子や、自分だけのオリジナルのいものになるように立体シールをじっくり考えている様子が多く見られた。中には親御さんのほうが夢中になって手伝っている姿もあった。鍋の中で金属が溶けている様子を見て「チョコレートみたい」と言って驚いている姿が見られた。自分で作りたいものの出来栄えと持ったときの重量感に子供たちは笑顔になって喜んでいた。

いものづくりの楽しさを体験してもらうことで、身近な鑄物製品にも興味を持ってもらうことができたと感じた。今後も子供いもの教室を通し、皆様に鑄造に関心をもってもらえるよう活動していく。



最後になりましたが、今回の子供いもの教室にご参加いただいた皆様、運営にあたり多大なご協力をいただきました岐阜市科学館の皆様、岐阜大学の学生の皆様に厚くお礼申し上げます。
(新東工業株式会社 阿部和也)